

ホームページ

探訪・中央図書館

中央図書館事務部 収書・整理課 森田孝文

現在、「近大をぶっ壊す。」と称して、近畿大学の東大阪キャンパス整備計画「超近大プロジェクト」が始動してキャンパスの工事区域も拡大しています。超近大プロジェクトにともない図書館も新館プロジェクトが進んでいます。「超近大プロジェクト」は平成32年の完成を目指しています。

そこで、ぶっ壊される前の現在の本館にある中央図書館を探訪して記録に残しておこうと思います。

まず、大学通りからアーチの正門をくぐり、正面に時計台のあるのが本館です。中央図書館は本館南側に位置し、本館から右方向に中央図書館の案内看板がエントランスの目印となり図書館へアプローチしています。階段を2段上がると自動扉があり、壁際に返却ポスト（BOX）があります。扉の中に入るとエレベーターホールと階段があり、図書館のお知らせ等の掲示をしています。また、案内モニターも設置されています。図書館の入口は3階になります。

階段を上がり2階には、図書館事務室と演習室2部屋があります。演習室は、新生生のための図書館ガイダンスの演習に使用したり、貴重書の蔵書展を行ったり、ブックリユースの会場にも演習室を活用しています。2階の突き当りの部屋は図書館事務室で、本や雑誌の受入やラベル装備をしたりして職員は忙しく作業をしています。

3階に上がると正面に不倒館（創設者 世耕

弘一記念室）があり、右側に中央図書館の入口があります。不倒館は、本学創設者の初代総長世耕弘一先生が掲げた建学の精神を伝えるために平成21年9月12日に開設されました。

また、図書館入口前には中央図書館の館内案内図が置かれています。掲示板もあり、開館カレンダーや企画選書コーナーの案内ポスターなどいろいろな案内を掲示しています。

入口扉の中に入ると、入退館ゲートが入退を管理して、学生証や図書館カードで入ることができます。学生証等忘れても、カウンターで受付すれば入室は可能です。ただし資料の貸出はできません。ゲートを通れば自由に閲覧できます。

この3階フロアにメインカウンターがあり、資料の貸出・返却がされます。入って左側にビデオ等が置かれたAV資料コーナーがあり、それらを視聴できるメディアルームも設置しています。メディアルームには、PCも置かれています。カウンター付近に戻り、階段横には、新着図書コーナーがあり、2階の事務室で受入された資料が並んでいます。また、右側には企画選書コーナーがあり月ごとにテーマを決めて展示しています。テーマとして「文学賞」特集や「論文・レポート作法」特集などを開催したりしています。向かい側には自然科学系の資料が配架されています。窓際にかけては閲覧室としてキャレル（勉強机）が並んでいます。奥に進むと、資格・就職コーナーや新聞が置かれています。新聞は、中央紙ほか地方紙も46都道府県の新聞が閲覧できます。一番奥の部屋が指定図書コーナーになり、この部屋にはシラバスに書かれた参考図書を主に置いています。指定図書は、貸出できません。

中階段を4階に上がると人文学系、社会科学系、文庫・新書などが棚に並んでいます。奥に進むと雑誌があります。雑誌でも学術系

でない娯楽・趣味的な雑誌（ブラウジング雑誌）も書架に並んでいます。学術雑誌は、和・洋雑誌に区分され50音とアルファベット順に棚に並んでいます。大学の紀要類も置いています。

5階に上がると、主に洋図書と文庫・新書が並んでいます。英語多読学習用教材のReadersも置かれています。一番奥の部屋がグループ閲覧室になっています。

そして、5階には本館書庫の入口があります。書庫利用カウンターで手続き（学生証と入室証の交換など）が必要です。本館書庫は3階から5階で開架できなくなった資料など多くの資料を保管しています。書庫は積層書庫になっていて、中間層のM階があり5・M6・M7・7・M8・M9階になっています。

5階には中央図書館が収集している地方史・郷土史誌があります。「日本史」は請求記号が「210」になります。北から「211」：北海道地方（『北海道志』（211-H80））から「219」：九州地方（『伊波普猷全集』（219.9）（琉球））まで並んでいます。

私の住んでいる大阪府松原市についてOPACで「松原市史」を調べると13件ヒットしました。書庫で見ると『松原市史』が全5巻、『松原市史資料集』全9巻（216.3-Ma73）が並んでいます。また、松原市になる前の地名は「中河内」になりますが、同じように検索すると1件ヒットしました。『日本古代の王権と社会』（210.3-Sa27）（4階開架）です。内容は、弥生時代方形周溝墓の変遷です。書庫に「中河内」について何かあるか探してみると、『中河内郡誌』（216.3-N32）を書棚に見つけました。この資料の第二編に町村誌が記載されていて、布忍川（現在の西除川）の記事があり、昔はアユが泳ぐきれいな川が詩から想像されます。

（狂歌） 布忍川そこをひくなど夕立の
忽ち風のさき手なりけり
貞弘

（俳句） 布瀬川鮎のさしみや糸造
重成^{*1, 2}

現在では、大和川にもアユが確認されてい

ます。^{*3}大和川のアユのことを書きましたが、松原市で歴史的に興味を引くのが大和川の付替え工事です。「大和川」で検索すると17件ヒットしました。「つけかえ」で再検索すると5件ヒットしました。『大和川付替（川違え）工事史：治水の恩人中甚兵衛考とその周辺』（517.21-F68）が書庫M7階にありました。

いろいろ興味のわく資料が探せば図書館の何処かにあり、見つかるものだと思います。

地方史誌について近畿地方は「216」で、大阪は「216.3-A」（『岸和田志』（A26））から始まって「216.3-O」（『難波宮址の研究』（O73））まで、A-O（著者記号）順に並んでいます。

私が一番興味のあるのが、M8階にあるF版（大型版）の資料です。特に「F700」：芸術・美術には興味深い資料（浮世絵など）がたくさんあります。絵画の大型本は迫力のある資料です。私の好きな『鳥獣戯画』で検索すると図書14件・AV資料1件ヒットしました。他学部も含まれていますので中央図書館で再検索すると図書11件ヒットしました。書庫の大型本で資料があるか再検索すると配置場所が本館書庫大型コーナーに1件ありました。（『日本絵巻物全集：3』（721.2-N77-3））

そして、「浮世絵」で詳細検索（浮世絵・大型本）すると157件ヒットしました。書庫にはたくさんの浮世絵関係の資料が保管されています。再検索で「北斎」は19件、「広重」は22件ヒットしました。『北斎-広重』（日本版画美術全集：第5巻）（730.8-N77-5）ほかは「721」と「721.8」に資料がまとまっています。

みなさんも貴重な資料が閲覧できる中央図書館に足を運び、是非図書館を探索してください。

参考文献

※1 『中河内郡誌』 大阪府中河内郡役所編
397-398頁（216.3-N32）

※2 『撰陽群談（下）・河内名所鑑（全）』（下）
歴史図書社 河内名所鑑巻四 布忍 582-

583 頁 (216.3-038-下)

※ 3 読売新聞 平成 27 年 5 月 13 日大阪朝刊

31 頁

毎日新聞 平成 27 年 8 月 26 日大阪夕刊

社会面 8 頁